

元本確保型ファンド
入門書
(マニュアル)

著者：河合 圭

今すぐプリントアウトを

このレポートは非常にボリュームがあります。PCで見ているだけでは非常に目がつかれ、それだけであなたを疲れさせることになってしまいます。

そのため、まずプリントアウトをしてください。そして片手に蛍光ペンを持ってあなたが重要だと思うところをマークして行ってください。

きっとこれを読み終わるころには、蛍光色でいっぱいになっているはずです。それがあなたの今後の投資にとって大事なところですよ。

この入門書を作った理由・・・

まずこの入門書を作る前に、

第1弾

『オフショア投資入門書（マニュアル）』

<http://xn--enyk60lt73bbjclvh.com/manualDL/>

第2弾

『海外積立投資入門書（マニュアル）』

<http://xn--enyk60lt73bbjclvh.com/manualDL2/>

第3弾

『海外口座開設入門書（マニュアル）』

<http://xn--enyk60lt73bbjclvh.com/manualDL3/>

第4弾

『オフショア資産管理口座入門書（マニュアル）』

<http://xn--enyk60lt73bbjclvh.com/manualDL4/>

第5弾

『スイスプライベートバンク入門書（マニュアル）』

<http://xn--enyk60lt73bbjclvh.com/manualDL5/>

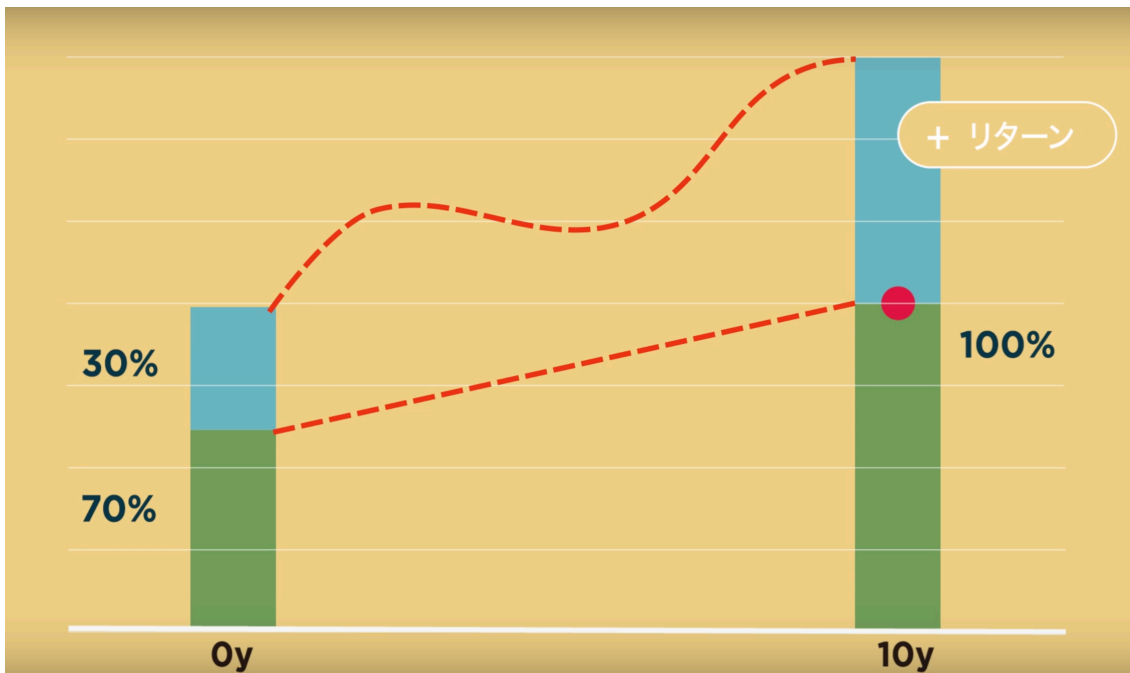
を作っています。

まずはそちらからご一読ください。

元本確保型ファンドとは？

そして今回のテーマは『元本確保型ファンド』。まずは元本確保型の仕組みをご説明しましょう。

これは元本確保型ファンドのイメージ図です。



まずファンドの運用開始をする際に投資額の 70%は安全資産である米国債券へ投資をします。米国債券は金利と満期がありますので、その満期まではその金利が固定でもらえますので、確実な収益と元本が確保できます。そのため 70%の部分を投資をした資産は 10 年後の満期時には 100%となって返ってきます。これが「元本確保」のスキームです（※市場の債券金利によってこの期間が決まります）。

さて残った 30%の部分ですが、これはすでに元本を確保するには必要のない資金なので、余裕資金として積極投資をすること

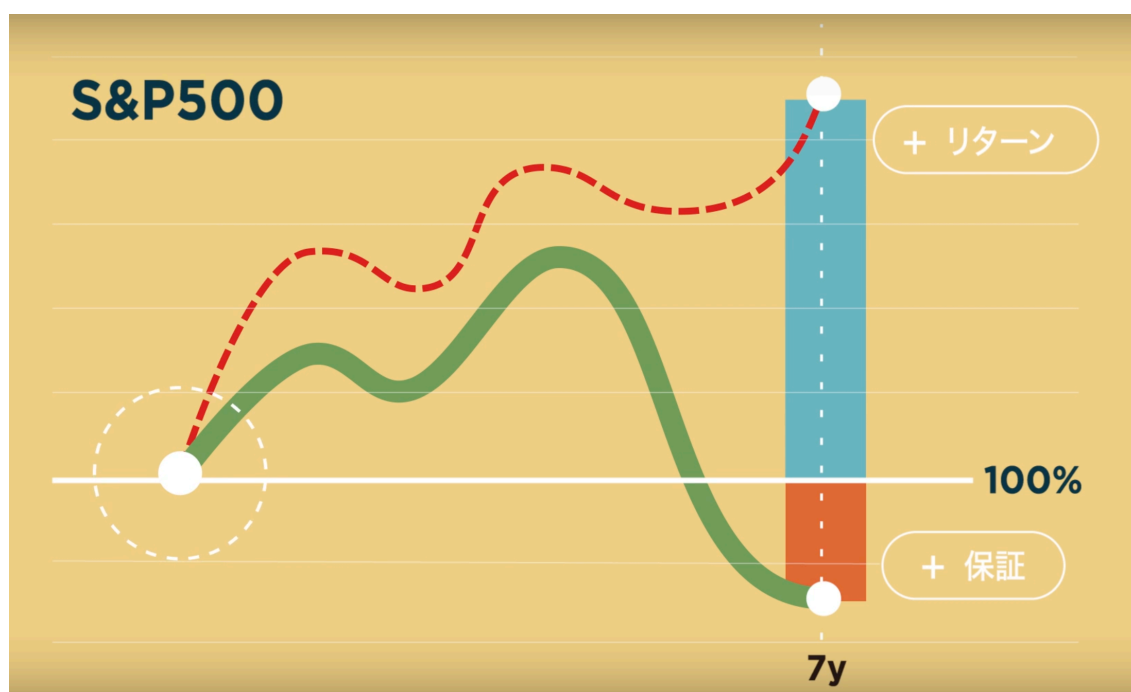
ができます。投資先は設定される「元本確保型ファンド」によって異なりますが、

- ・ S&P500
- ・ ヘッジファンド

へ投資をします。

S&P 500 元本確保型ファンド

まず簡単なのが S&P500 という米国株インデックスに投資をしている元本確保型ファンドです。



これは誰かが運用しているファンドではないため、常に投資ができるようになっています。過去金融危機の時（2008年）を除き、ずっと上昇している米国株ですから、運用コストの最も

低い S&P500 へ投資をするということは、株式投資で最も堅実だと言えらると思ひます（現在は金融危機前の高値を更新しています）。

期間は直接投資で 7 年、オフショア資産管理口座経由で 6 年となっています。6 年後に元本の 100%を保証してもらった上で、満期時、または運用期間中上がったところで利益確定をするという商品ですね。

最低投資額：USD 10,000

満期：7 年（直接投資）

or 6 年

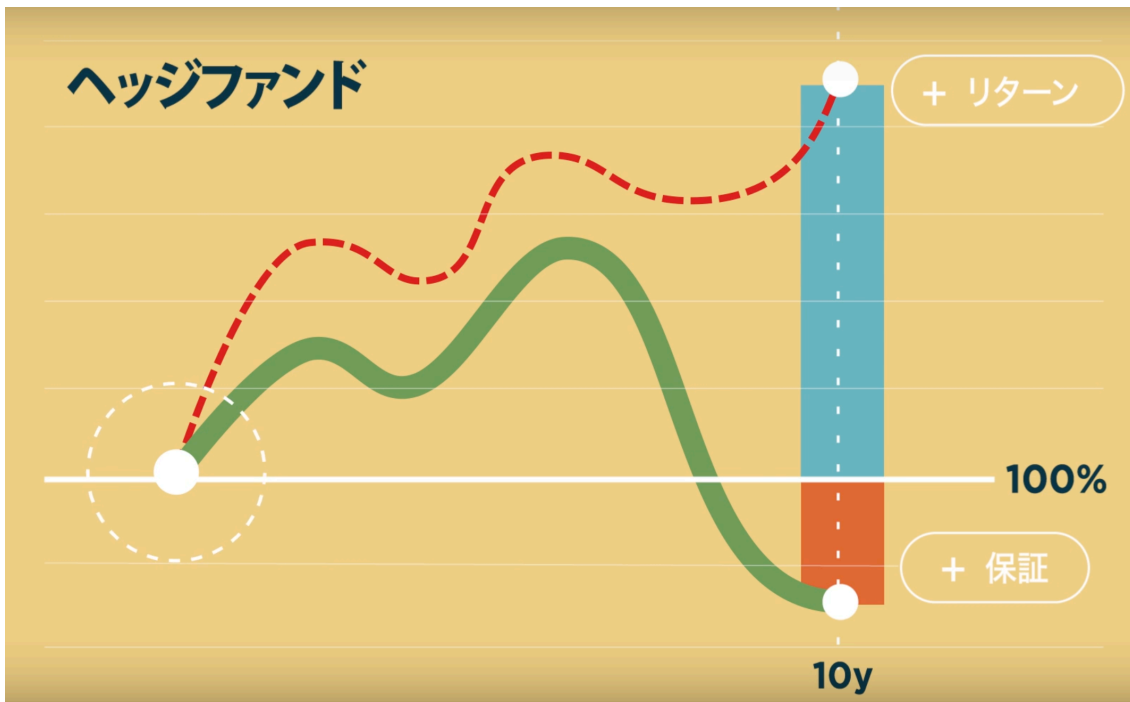
（オフショア資産管理口座、スイスプライベートバンク口経由）

投資先：S&P500

元本確保：100%

ヘッジファンド元本確保型ファンド

次に同じく満期時（最近だと 13 年など）に元本の 100%（最近だと 90%）を保証してもらった上で、ヘッジファンドに投資をできる元本確保型ファンドもあります。



ヘッジファンドの種類としては、

- ・ CTA (マネージド・フューチャーズ戦略)
- ・ グローバルマクロ戦略
- ・ FX

などその時によって異なりますが、『オフショア投資入門書 (マニュアル)』でもご案内しているような優秀なオフショアファンドへ投資できることが特徴です。

ただし、最近は商品の設計が難しくなっているため、S&P500元本確保型ファンドのようにいつでも投資できるわけではありません。たまにある募集に合わせて募集期間中に投資を始めないといけません。

最低投資額：USD 10,000

満期：13年

投資先：ヘッジファンド

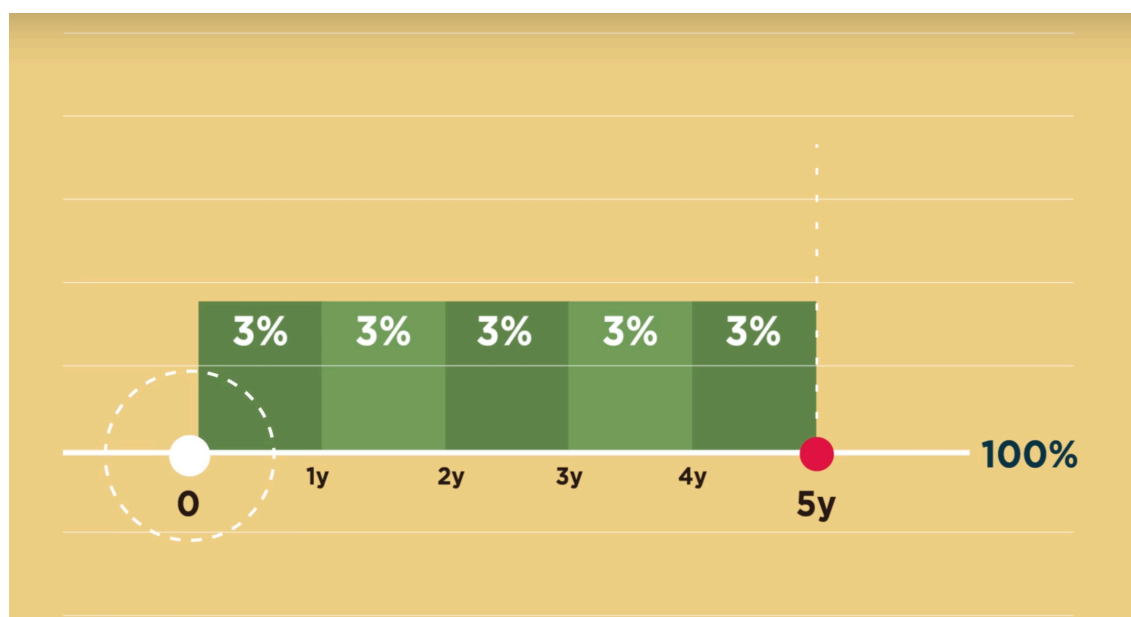
元本確保：90%

※オフショア資産管理口座、スイスプライベートバンク口座経由

固定金利元本確保型ファンド

このように積極投資をする元本確保型もあれば、本当に単に金利だけが確実につけばいいという「固定金利型」の元本確保型ファンドもあります。

「固定金利型」とはどのようなものなのか？そのままですが固定の金利（年 1.5%、年 2.5%など）が毎年確実につく、ただそれだけです。債券とも似ていますが、債券のように運用期間中債券単価が上下するわけでもないので、定期預金の方が近いと思います。



ではどうしてこのような金利をつけることができるのか？先ほどの積極運用の元本確保型でもご説明しましたが、米国債券などの債券で運用します。もし満期が短期の債券で保有すれば金利はあまり付きませんが、これを長期の債券を保有することで金利は高く設定できます。しかし問題は個人の投資家にすると、3年や5年（短期）ならまだしも10年（長期）となるとちょっと長い投資になってしまうということです。

これを解決したのがこの固定金利型の元本確保型ファンド。ファンドとして長期の債券を保有しておいて、あとは個別に申し込まれた個人投資家にその期間（3年、5年）の金利を分配します。結果、このような金利がつきます。

3年満期：1.5%

5年満期：2.5%

これは2017年3月の金利水準において、この金利がついているので、市中金利が変動すると設定される金利が変わることになります。ただし一度設定された金利は必ず満期までもらえます。

※なお2012年時点ではそれぞれ3.5%、4.25%がついていましたので、米国の長期金利低迷により、徐々にこの固定金利も下がってきました。ただし投資後、その商品の金利が下がることはありません（固定金利）。

最低投資額：USD 10,000

年数：3年、5年

通貨：USD

金利：1.5%（3年）、2.5%（5年）

投資先：米国債

元本確保：100%（満期時）

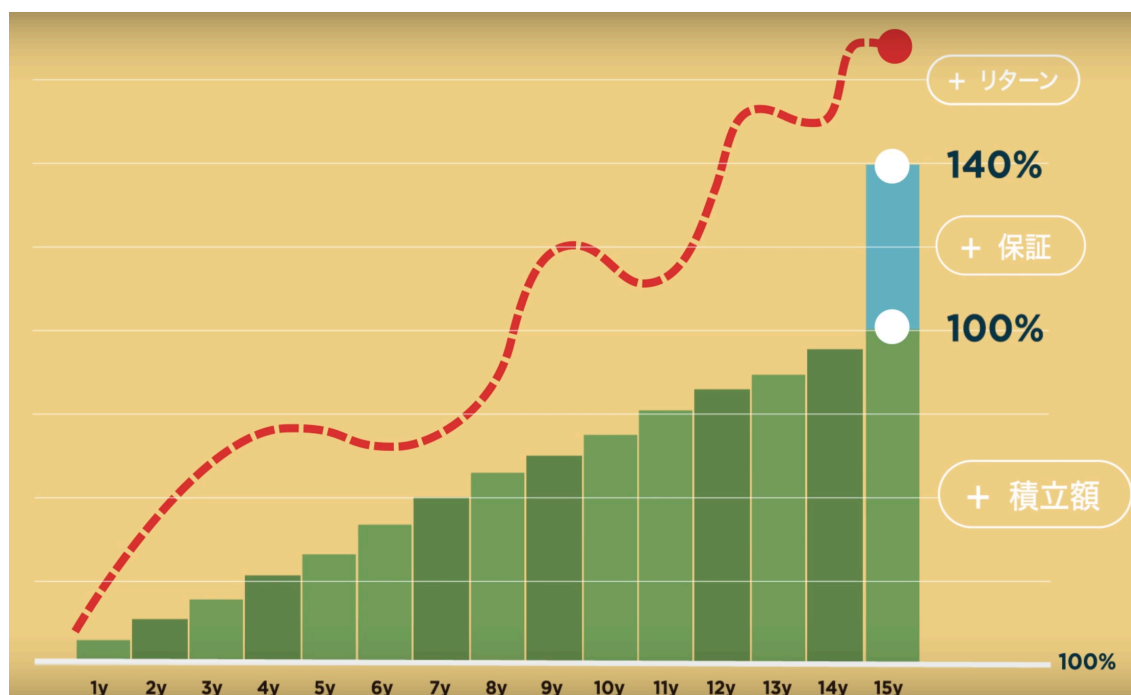
※ 直接投資のみ

140%元本確保型積立投資

今までの一括投資で投資できる元本確保型ファンドでしたが、これを積立投資で毎年固定の金額を投資していくこともできます。

更にその積立総額に40%を上乗せした140%が満期時（15年後）に保証されます。

そして元本確保をした上での投資先はS&P500なので、満期時にそのS&P500が元本の140%以上になっていれば、そちらをもらうことができます。



S&P500 に 15 年間毎月一定額を投資していきながら（積立投資）、15 年後に総投資額の 140%を元本確保するものもあります。つまり 15 年間で最低でも+40%のリターン（金利）を得ることが保証されており、更に S&P500 が今までどおり上昇した際には、そのいずれか高い方をもらうことができるというものです。

最低投資額：USD 200/月

満期：15 年

元本確保：140%

投資先：S&P500

最後に・・・

4 つの元本確保型ファンドをおさらいです。

- ・ S&P500 元本確保型ファンド
- ・ ヘッジファンド元本確保型ファンド
- ・ 固定金利元本確保型ファンド
- ・ 140%元本確保型積立投資（S&P500）

まずは一括投資なのか積立投資なのかを考えましょう。いずれにせよ元本確保はされるのですが、既に預金としてまとまった金額があるのであれば一括投資。今後の収入から将来の年金やお子さんの学資保険代わりに貯蓄していきたいということであれば積立投資です。

一括投資も 3 つ種類がありますが、リスクをどのように取るか？投資対象を何にするか？で投資先を決めましょう。数%の

固定金利でよければ固定金利。米株が強気だと思えば S&P500。更に長期的に高い利回りを目指すのであればヘッジファンドです。

期間を事前に決めれば元本が保証された上で投資ができる（何かしらの金利収入がある）わけですから、なにもしないで預貯金にしておくことなどありえないということですね。人生は計画的に期間を決めて、その間増やすものは最低でもこの元本確保型ファンドで増やしておきましょう。

※ 本入門書を動画(Youtube)でも配信しています（無料）。

<https://youtu.be/rPBik-CSs00>

K2 Investment

会長 河合圭

info@k2-investment.com

<http://k2-investment.com>